



医療
連携

つつじ

2024年 春号

48号

東京山手メディカルセンター 〒169-0073 新宿区百人町3-22-1
総合医療相談センター ☎03-3364-0366 FAX 03-3365-5951 <https://yamate.jcho.go.jp/>

TOPIX

- ▶ ご挨拶／院長 矢野 哲
- ▶ 就任のご挨拶／腎臓内科部長 鈴木 淳司
- ▶ 質問にお答えします／整形外科部長 田代 俊之
- ▶ 医療連携登録施設のご紹介（ここ推しマップ）／ヤマメちゃん
- ▶ 放射線部のご紹介／放射線科 高倉 徹也
- ▶ 3月外来担当表

ご挨拶

院長 矢野 哲



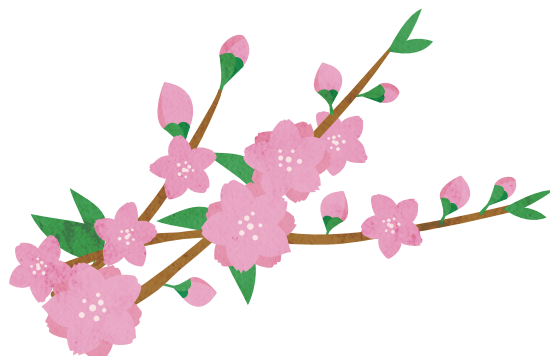
病院長職を拝命して
から、間もなく6年が
経ちます。当院では、
東京都区西部二次医療
圏の地域急性期病院と
して最善の医療の提供
に邁進しております。

常日頃より医療連携にて当院をお引き立ていた
だき、厚く御礼申し上げます。

当院は2014年4月に独立行政法人地域医療
機能推進機構（JCHO）の一員となって早くも
11年目を迎えます。2019年に認定された「地
域医療支援病院」として「かかりつけ医」の先生
方との医療連携をますます強化していく所存で
す。これまで副院長は3人体制でしたが、幅広い
業務を遂行するために新年度から5人体制にな
ります。4月には高澤賢次統括診療部長が副院長（健
康管理センター長併任）に就き、その後任として
三浦英明肝臓内科部長・地域医療連携室長が昇格
します。さらに、野村仁美看護部長がJCHO病
院では初めて看護師として副院長に就き看護部強
化に努めます。カテーテルアブレーションを得意
とする鈴木篤循環器内科副部長は、第二循環器内
科部長に昇格します。3月末に退職する熊田篤小

児科部長の後任として、高松朋子医師が昇格しま
す。同じく3月末に退職する加藤司顕泌尿器科部
長の後任として、東京警察病院の野崎圭夏泌尿器
科医長が着任します。詳細な診療内容につきまし
ては、当院ホームページの診療科案内のサイトを
御参照頂ければ幸いです。また、病院に隣接して
放射線治療棟を新設し、暫く中断していた放射線
治療を2026年には再開する予定になりました。
今後さらに地域の高齢化が進む中で必然的に癌患
者数が増えますので、当院もこれに備えておかな
ければなりません。新たな感染症危機に備える「改
正感染症法」が4月から施行されます。当院は地
域医療・在宅医療に携わる先生方と共に感染症対
策を含めた地域包括ケアシステムを円滑に構築し
て参りたいと考えております。

今後とも引き続き何卒よろしくお願い申し上げ
ます。





このたび令和5年7月1日付で腎臓内科部長・透析センター長を拝命いたしました、鈴木 淳司（すずき あつし）と申します。2019年から当院に勤務しております。

■ 自己紹介

私は生まれてすぐ杉並区に転入して、人生の半分以上を杉並区で暮らしています。子供の頃は鼻炎や喘息で小児科に通う日々でした。実家は駅から遠くて道も細い住宅地にあり、ご近所さんが病院へ行くのも大変だな、救急車を呼んだら時間がかかるだろうな、と思いながら育ちました。最寄り駅は丸ノ内線沿線で、中学高校の通学を含めてどこへ行くにも必ず新宿駅で乗り換えていました。

ご縁があって大学は山梨医科大学（現在は山梨大学）へ進学しました。当時の医学部キャンパスと大学病院は玉穂村にあり辺り一面が田んぼだったので、オーケストラの部活動に全青春を注ぎました。学業では生理学や薬理学、内科学を好んで学びました。とりわけ心筋の電気生理やホルモンの調節機構を面白いと感じていたのは、昭和の時代にカテコラミンの研究者だった祖父の影響かもしれません。

卒後臨床研修では東京厚生年金病院（現在のJCHO 東京新宿メディカルセンター）にご縁があり医師人生が始まりました。専門を決める時期になり糖尿病と循環器とで悩みましたが、そんなとき腎臓内科部長の谷口茂夫先生の、電解質がテーマの研修医講義に感銘を受け、腎臓を専門にしようと決めました。当時は急性腎障害 AKI という新しい概念が登場して、慢性腎臓病 CKD のガイドラインが日本で初めて刊行され、腎臓内科診療の大きな転換点でもありました。

日々の臨床で血液と尿の検査結果を見比べているうちに、腎臓で何が起きているのか知りたいという好奇心が溢れて東京大学大学院に進学しました。腎臓生理の研究室に所属して、関常司先生のご指導のもとマウスやラットを用いた動物実験に明け暮れました。腎臓の尿細管について学びを深める過程で、尿細管と小腸粘膜の上皮細胞に同じ構造があると知ったり、人体の電解質をより広い

視野から俯瞰できるようになったりしたのは基礎研究の賜物と思います。

大学院修了のタイミングで、知人が開業したクリニックの承継を打診されました。新宿から西に約10分、血液透析と内科の外来診療をしていて、私のイメージ通りの医療の最前線でした。生まれ育った城西エリアの地域医療に貢献できるなら、これもご縁と引き受けました。院長時代はどの病院に患者さんを紹介すればよいかが一番の悩みでした。精査のため紹介しても期待通りの診察を受けられず、患者さんと一緒に落胆したこともあり。透析患者さんが透析を理由に診療を敬遠されたことも、救急車を呼んでたらい回しになったこともあり。長期入院を経て退院された患者さんの紹介状返信があまりに簡素で、余白の行間を読んだこともあり。また、

患者さんを安心して送り出せる病院が見当たらないのなら、自分が病院の中で患者さんを引き受ける側になりたい、と考えるようになりました。そんなとき矢野哲院長からお声掛けを頂いて、勤務医に戻ることを決心しました。東京山手メディカルセンターは腎生検、腹膜透析、外来血液透析をすべて実施できる数少ない総合病院で、41床と大規模な透析センターがあることも魅力的でした。

国民全体の高齢化も相まってCKDは今や8人に1人が罹病する国民病とも言われます。腎臓内科の最たる務めはCKDの進行を遅らせて透析を先延ばしにすることですが、もう1つの重要な務めは、CKD患者が合併するがんや脳血管疾患を適切なタイミングで専門科に橋渡しすることと自負します。自身の専門である腎臓・透析のことはもちろん、総合診療から集中治療まで広範囲に精通する必要があると感じて日々研鑽を重ねています。最近では院内の緩和ケアチームやNST（栄養サポートチーム）に参加させて頂くようになり、守備範囲がさらに広がりました。

この場で皆様にご挨拶をさせて頂くのも何かのご縁と思います。当科ではわずかなeGFR低下や尿検査の異常でもご相談を歓迎しています。開業医と勤務医の双方の立場を経験したことから、病診連携を積極的に推し進めております。JCHOの名に相応しく、近隣にお住まいの皆様や地域の先生方のお役に立てますように、今後もつとめて参ります。今後とも何卒よろしく願いいたします。



教えてドクター！

9月15日に開催されました医療連携WEB講演会「骨粗鬆症の治療と介護」にお寄せいただいた質問にお答えいたします



整形外科部長
田代 俊之

Q1 一度骨折すると再び骨折しやすいと聞きますが本当ですか

回答欄

高齢者が転倒して起こりやすいのは、大腿骨近位部骨折です。この骨折を起こした方は骨粗鬆症に既になっていると考えられます。大腿骨近位部骨折を起こすと、一年後には約40%の方は骨折前の歩行状態に戻れません。このように既に骨粗鬆症になっている方が、さらに歩行能力が低下するので、一年以内に高率に逆側の骨折を起こすことが知られています。

そのため、最近では一度骨折した方は、しっかり骨粗鬆症の治療をし、骨折の連鎖を防ぐことが推奨されています。

大腿骨近位部骨折を起こすと、歩行能力だけではなく、生命予後も短くなると言われています。人生100年時代で、寿命が延びるのは良いことですが、どうやら筋肉や骨など筋骨格がこれについていけないようです。

適切な薬物治療やリハビリを行うことで、筋骨格の寿命も伸ばし、人生最後まで自分の足で歩いていけると良いですね。

Q2 骨折を繰り返す85才以上高齢者に対するアレンドロン酸等薬剤の効果について教えてください。

回答欄

骨折を繰り返す85歳以上高齢者に対する治療についてとのことですが、元気で他に問題が無ければPTHやプラリア、イベニティーなどで積極的に骨密度を上げることも考えて良いかと思います。もちろんアレンドロン酸等薬剤も効果があります。

ただ85歳を超えると治療にも制限が多くなりますので、できれば早めに治療をしていくことが大切だと思います。昔なら85歳はほぼ寿命になっていましたが、現在は90歳代でも歩ける方は沢山います。ただ骨、関節、筋肉がついていけなくて転倒、骨折してしまうことが問題です。

今後行政とも連携して、高齢者の早めの骨粗鬆症治療と運動の啓蒙をして行けたらと思います。

医療連携登録施設のご紹介

ヤマメちゃんの

ココ推しMAP



いつもお世話になっているクリニックさんの推し



かたやま医院



細谷医院



子供の国

子供達が大好きな水槽の上には
赤鬼青鬼が鎮座

西戸山
クリニック



百人町
診療所

小湊橋通り

パワースマイル

地元の患者さんを
支える力強い笑顔！



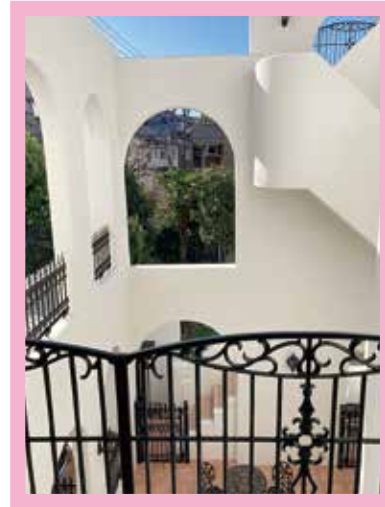
竹田クリニック

大久保駅



無敵タッグ

お一人で頑張ってきた
お父様のもとにお嬢様が着任



地中海?!

スペイン風のクリニック内に
ギャラリーのような待合室

早稲田通り

高田馬場駅



須田外科クリニック

いなせなお兄様

法被の帯をきりりと締めて、
今日も軽いフットワーク



東京山手メディカル
センター

ココ

ご近所

当院より徒歩3分
スープの冷めない距離で
熱々の関係



大久保通り

新大久保駅

※当院裏門より撮影

放射線科の紹介



当放射線科では、医師3名、診療放射線技師22名が従事し、画像診断部門・放射線治療部門（機器更新準備中）・健診センター部門より構成され、一般撮影（マンモ、骨密度、歯科パントモなどを含む）、CT、MRI、透視X-TV、心・血管撮影、核医学検査（アイソトープ）等の放射線医療機器を駆使して、さまざまな疾患の診断や治療、また健診業務に従事しています。

また、地域の開業の先生方の依頼を受けて、放射線機器を利用した検査を行っており、CT、MRI、骨密度検査に対応し専門医が迅速に依頼医あてに報告書を作成します。またインターネットで何時でも予約できるシステムも整備しており、クリニックと当院をオンラインで接続することで、24時間365日いつでも検査・診療予約が可能。検査や診療予約業務を効率化し、患者さまや医師の負担を軽減します。医療機器を地域で有効活用し、より専門性の高い医療を実現します。登録には費用が掛かりませんので是非ご利用ください。

一般撮影部門では2022年4月に骨密度装置（DEXA）、また8月には一般撮影装置において、最新の機能を備えた機器が導入されました。画像処理装置はすべて**最新の検出器（FPD）**の対応となり、画質の向上によりさらに有用な情報を提供できるようになりました。また検出器の感度向上にともない、患者さんの被ばく線量も**従来の方式（CR）**に比べおおよそ1/2から1/3程度に低減することが可能となりました。

MRI装置では、2020年1月に導入された3T（テスラ）と1.5T装置の2台が稼働しています。当院の特色である炎症性腸疾患（IBD）に対するMR enterographyや大腸肛門病疾患である痔瘻の造影MRIを積極的に行っています。

CT装置では、2019年1月に導入された80列と64列Multi Detector CT（MDCT）装置の2台が稼働しています。心臓CT・大腸CT・肝臓体積測定・CT angiography（CTA）、また放射線科医師によるCTガイド下生検・ドレナージ・術前肺マーカ挿入（VATS）などが行われています。



マンモグラフィ装置では、通常の撮影に加え、トモシンセシス機能が備えられ必要に応じて多層断層画像の作成が可能です。また手術による摘出乳腺病理検体の撮影も行われ、術前の臨床診断と病理診断の検討も行われています。

心臓カテーテル装置では、心筋梗塞などに対して経皮的冠動脈インターベンション (PCI)、下肢動脈狭窄・閉塞症などに対して経皮的血管拡張術 (PTA)、不整脈などに対してカテーテルアブレーション (RFCA) が行われ、この様なさまざまな検査に対応するアプリケーションが装備されています。

血管撮影装置では、肝動脈化学塞栓術 (TACE)、消化管出血に対するコイル塞栓術などの各種 Interventional Radiology (IVR) が行われています。複雑な血管走行や体内の 2D や 3D 画像が撮影可能な CBCT (Cone Beam CT) 機能も備わっています。

放射線情報システム (RIS) では、2022 年 8 月に医療安全対策と放射線業務の効率化を重視したシステム構成を実現しました。

RIS を活用した安全で安心な放射線診療の試みでは、バーコードリーダーによる患者認証システムを導入しました。

検診部門では胸部、胃エックス線検査、マンモグラフィに加え、CT や MRI の様々なオプション検査に対応しております。(全身 MRI 検査 DWI、胸部 CT 検査、骨密度測定など)

■医療被ばく低減施設の認定

安心できる放射線診療を提供するため、被ばく低減に努めています。2013 年には、日本診療放射線技師会の事業である医療被ばく低減施設認定を取得しています。全国の病院で 38 番目、57 の JCHO 病院の中は 2 番目に認定を取得しました。また、診療放射線技師による医療被ばく相談の窓口を開設しています。当院での被ばく線量の

データ開示や医療被ばくに関する疑問・質問を受けています (業務の都合により直ぐに対応できない場合があります)

行為の正当化、防護の最適化を実践しながら、施設側の立ち位置ではなく患者さまの目線で業務に取り組んでいます。ご安心して検査をお受け下さい。

また、当院では様々な認定資格を取得した診療放射線技師が在籍し質の高い検査や治療を行っています。

2023 年度 放射線科診療部 認定資格

第一種放射線取扱主任者	3 名
第二種放射線取扱主任者	1 名
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	3 名
日本 X 線 CT 認定技師	6 名
肺がん CT 検診認定技師	1 名
核医学専門技師	1 名
胃がん検診専門技師	1 名
胃がん X 線検診技術部門 B 資格	1 名
胃がん X 線検診読影部門 B 資格	1 名
磁気共鳴専門技術者	2 名
放射線管理士	9 名
放射線機器管理士	9 名
医療画像情報精度管理士	2 名
臨床実習指導教員	1 名
Ai 認定診療放射線技師	2 名
画像等手術支援認定診療放射線技師	1 名
放射線治療専門放射線技師補	1 名
第一種作業環境測定士	1 名
上級救命技能認定	1 名
BLS プロバイダー	2 名
告示研修 (基礎講習・実技研修終了者)	6 名

このように当放射線科ではさまざまな最新の医療機器を装備しております。患者さんとの対応を大切にし、ニーズに合った画像を専門性を活かし提供出来るよう、スタッフ一同、心がけます。

東京山手メディカルセンター 外来担当表

2024/3/1～

※医師の指定がある場合は、お電話にて休診をご確認ください。 ※診療の受付時間は8:30～11:00です。

◆受付時間を過ぎる場合や緊急の場合は総合医療相談室にお問い合わせください。

総合医療相談室(業務時間 午前8:30～午後5:00) 直通 TEL:03-3364-0366 直通 FAX:03-3365-5951

◆午後5:00～午前8:30の夜間、土日祝日はこちらにお問い合わせください。 → 03-3364-0251(代表)

*女性

科別		月	火	水	木	金		
内科	内科1	増田 怜(循)	*中村 玲奈(循)	薄井 由男(循)	薄井 由男(循)	*川勝 紗樹(循)		
		佐藤 弘典(循)	村上 輔(循)	渡部 真吾(循)	吉川 俊治(循)	鈴木 篤(循)		
		佐野 弘二(消)	三浦 英明(肝)	*柳 富子(血)	三浦 英明(肝)			
		長島 哲理(呼)	*米野 由希子(血)	*井窪 祐美子	園田 光(炎腸疾)	大河内 康実(呼)		
		*岩本 志穂(炎腸疾)	園田 光(炎腸疾)	深田 雅之(炎腸疾)	*岩本志穂(炎腸疾)	深田 雅之(炎腸疾)		
		徳田 均(呼)予約制	笠井 昭吾(呼)	*小林 晶子(リ・膠)予約制	長島(第2, 4) 服部(第1, 3, 5)	徳田 均(呼)予約制		
		東海林 寛樹(呼)		*酒匂 美奈子(炎腸疾)	鈴木 淳司(腎)	齊藤 悠一(消)		
		岡野 荘(炎腸疾)	廣瀬 雄紀(消)	齋藤 聡(消)	山崎 大(消)	*酒匂 美奈子(炎腸疾)		
		交替制	三森 明夫	交替制	*塩入 瑛梨子	交替制		
		IBD初診	深田 雅之	*酒匂/堀江	園田 光	岡野 荘	*岩本 志穂	
内科2	リウマチ膠原病科(予約制)	*落合 萌子(午後)	金子 駿太	金子 駿太(午後)		三森 明夫(午後)		
		*會田 光(糖)	日高 章寿(糖)	*中西 直子(糖)	日高 章寿(糖)	*堀越 桃子(糖)		
		山下 滋雄(糖)	*堀江 有実子(糖)	*堀越 桃子(糖)	*堀越 桃子(糖)	山下 滋雄(糖)		
		野本 宏(メンタル)	*古田 夏紀(メンタル)	鈴木 淳司(腎)	*中島 えり菜(メンタル)	水野 智仁(腎)		
大腸・肛門外科	(予約制) 直接肛門科外来にお電話ください。 内線2160	*古川 聡美	山名 哲郎	*西尾 梨沙	岡本 欣也	大城 泰平		
		岡本 欣也	*西尾 梨沙	大城 泰平	山名 哲郎	*古川 聡美		
		藤本 崇司	工代 哲也	*井上 英美	藤本 崇司	東 佑生		
外科	午前	消化器外科 (上部消化管・肝胆脾)	久保田 啓介	工藤 宏樹	伊地知 正賢	森戸 正顕	柴崎 正幸	
		乳腺外科		*竹島 雅子		橋本 政典		
		形成外科	*藤田 純美		*藤田 純美	*富岡 容子	*藤田 純美	
		呼吸器外科	水谷 栄基(第1, 3, 5) *山本 沙希(第2, 4)		森田 理一郎	*山本 沙希(第1, 3, 5) 森田 理一郎(第2, 4)	水谷 栄基	
		心臓血管外科		恵木 康壮	高澤 賢次		明石 興彦	
	緩和ケア外来	*山本 沙希(第2)			森田 理一郎(第4)			
	午後	※印は予約制直接外来にお電話ください。内線2120	乳腺外来(～14:00) 橋本 政典	※漢方外来 田中 純哉	※あし外来(第2・4) 恵木 康壮	※ソケイヘルニア外来 伊地知 正賢	※乳腺外来 柴崎 正幸	
	産婦人科	午前 婦人科	予約	*嘉和地 成美		*入江 美穂	*岡村 彰子(第2, 4)	橋本耕一/中林正雄
			予約外	橋本 耕一	*野村 香央里	小林 浩一(完全予約制)	*手塚 真紀(第1, 3)	中林 正雄
		午前産科(予約)	小林浩一/*岡村彰子	中林 正雄	*嘉和地成美/*高梨真琳	*大村 恵梨香	非常勤/*入江 美穂	
整形外科	午前	整形外科	田代 俊之	飯島 卓夫	交替代制【整形】	飯島 卓夫	田代 俊之	
			内田 正樹	木村 健人	大平 俊介	田中哲平(第1, 3, 5)		
			田中 哲平			内田正樹(第2, 4)		
			増島 信也					
	手外科	河野 慎次郎		河野 慎次郎				
脊椎脊髄外科 (予約制)	平林 茂	休診	休診	俣田 敏旦	休診			
午後 完全予約制 外来にお電話ください。内線2180	交代制			熊野 洋	田中 哲平	田代 俊之(膝) 飯島 卓夫(腫瘍)		
脳神経外科	午前	紹介救急(交替制)	武田 泰明(予約/連携) ※診察開始は10:30～	高草木 宏之 (予約/救急)	武田 泰明(予約/連携)	紹介救急(交替制)		
			大野 博康(初診/救急)	大野 博康(初診/連携)	神保 洋之(初診/救急)	予備外来		
小児科	午前	熊田 篤	熊田 篤	熊田 篤	*上田 美希	山西 慎吾		
		*西郡 綾子	*長谷川 里奈	*高松 朋子	*高松 朋子	熊田 篤		
	午後 予約外来	*高松朋子/*上田美希	*上田 美希	早川 潤	交代制3,5 沼部博直1,2,4 *高松/*上田/*鶴井	*高松朋子/*上田美希		
眼科	午前	地場 達也	地場 達也	地場 達也	地場 達也	地場 達也		
					藤野 雄次郎			
泌尿器科	午前	*佐藤 千紗	加藤 司顕	加藤 司顕	休診	加藤 司顕/*佐藤千紗		
		*金谷 佳織	柴崎 仁志	*金谷 佳織	*金谷 佳織	交代制		
耳鼻咽喉科	午後(13:30～14:30)	柴崎 仁志	柴崎 仁志	*めまい外来 鶴頭 輝	*橋 澄	*水上 藍子		
		交代制	柴崎 仁志		*金谷 佳織			
皮膚科	午前	鳥居 秀嗣	宮田 龍臣	鳥居 秀嗣	鳥居 秀嗣	鳥居 秀嗣		
		*小久保 美央	*小久保 美央	*小久保 美央	*小久保 美央	*小久保 美央		
歯科・口腔外科	午前	中野 雅昭	中野 雅昭	中野 雅昭	中野 雅昭	中野 雅昭		
		熊谷 順也	熊谷 順也	熊谷 順也	熊谷 順也	熊谷 順也		



東京山手メディカルセンター

〒169-0073 新宿区百人町3-22-1

総合医療相談センター ☎ 03-3364-0366 FAX 03-3365-5951

<https://yamate.jcho.go.jp/>



この冊子は環境にやさしい有害廃液の出ないクリーン印刷で作成しています